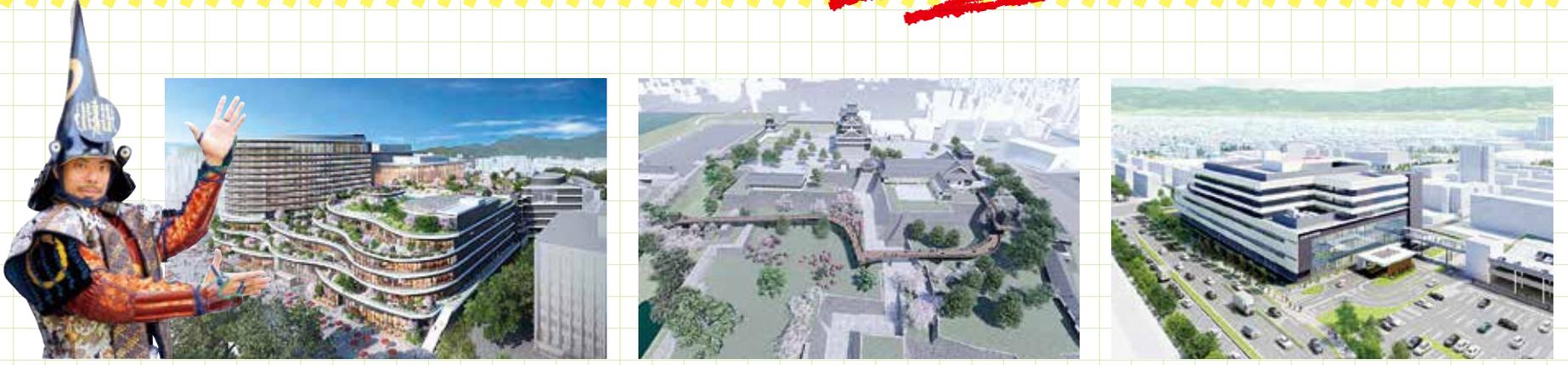


# 正解は…「よ」が3つで**予算!**平成31年度



平成28年熊本地震から3年が経過しましたが、今もなお約5千世帯の方々が仮設住宅などでの生活を余儀なくされています。被災された全ての皆様の1日も早い住まい・生活の再建を最優先に、新市民病院の開院をはじめ、熊本城大天守の外観復旧に伴う特別公開や熊本城ホールの開業など、復旧・復興の歩みをさらに加速させていきます。

また、復興の先を見据えた未来への礎づくりとして、ICT(情報通信技術)教育の環境整備や、バス・市電などの公共交通の機能強化、健康ポイントの導入による健康づくりのための施策などに重点的に取り組んでいきます。

当初予算の比較

区分	平成31年度	平成30年度	比較	伸び率
一般会計	3,702	3,653	49	1.3%
特別会計	2,114	2,064	50	2.4%
企業会計	847	836	11	1.4%
総計	6,663	6,553	110	1.7%

(単位:億円)

※四捨五入の関係で足しあげた数値の合計や差引きの数値が一致しない場合があります。

## 一般会計の概要

平成31年度一般会計当初予算規模は3,702億円で、前年度比49億円の増(伸び率+1.3%)となりました。

## 「震災復興計画の推進」— 5つの復興重点**プロジェクト**

### ■一人ひとりの暮らしを支える**プロジェクト**

- ・伴走型の住まい確保支援  
仮設住宅等から恒久住宅への移行に向けた情報提供などの寄り添った支援を行います。
- ・住まいの再建に対する助成  
被災者一人ひとりの住宅再建方法に応じ、経済的な支援を行います。
- ・災害公営住宅の整備  
全8か所、326戸の年内完成を目指します。
- ・各区における復興支援  
恒久住宅移行後の新たなコミュニティ形成の支援や、健康や子育ての不安に対する地域での見守りなど、各区が地域に寄り添い、柔軟に支援を行います。



### ■くまもとのシンボル「熊本城」復旧**プロジェクト**

- ・10月には大天守の外観復旧完了に伴う特別公開の開始、2020年春には被害状況や復旧の様子を観覧できる特別見学通路の完成を予定しており、熊本城の復旧とともに、観光資源としての活用を図っていきます。

### ■新たな熊本の経済成長をけん引する**プロジェクト**

- ・熊本城ホールの整備  
12月に開業する熊本城ホールでは、多彩な開業記念イベントを開催します。
- ・熊本駅白川口(東口)駅前広場の整備  
2021年春の整備完了に向け、用地取得や上屋根の設置工事などを行います。



### ■市民の命を守る「熊本市民病院」再生**プロジェクト**

- ・10月の開院に向け、6月までに建設工事を完了し、準備を進めます。

### ■震災の記憶を次世代へつなぐ**プロジェクト**

- ・震災からの復興の発信  
熊本地震の記憶を伝えるための復興手記集の作成や、復興の情報発信のための復興パネル展を開催します。

## 「上質な生活都市」の実現に向けた主な取り組み

### ■安心して暮らせるまちづくり

- ・教育の情報化の推進  
政令指定都市トップレベルのICT教育環境の整備に向け、タブレット端末の配置を全小学校へ拡大します。



### ・健康ポイント事業

楽しみながら健康づくりができるよう、スマートフォンアプリを用いた健康ポイント事業を始めます。健診の受診やウォーキングでポイントをため、一定ポイントに達すると抽選で県産品や商品券などが当たる仕組みを構築し、健康づくりの支援を行います。



### ■ずっと住みたいまちづくり

- ・公共交通グランドデザインの改定  
公共交通と自動車交通のベストミックスへ向け「グランドデザイン」を改訂します。



### ・東京圏などからの移住の促進

移住希望者を対象とした、国内最大規模の移住ツアー型就職面接会の開催や、移住して就職・起業する方への支援を行います。

### ■訪れてみたいまちづくり

ラグビーワールドカップ・女子ハンドボール世界選手権の開催や、再建に取り組む熊本城などでさまざまなイベントを開催し、市の魅力を国内外に発信します。